

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～
・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体
発行日 平成30年6月25日
発行責任者 尾崎 朋子
文 責 佐々木 正道

チームの力

校長 尾崎 朋子

真夏のような暑さになったかと思うと、峠では雪が降り暖房が必要な日が続くなど、気温差が激しく体調管理が難しい1か月だったのではないかと思います。そのような中、先月末に行われた体育祭では生徒一人一人が自分の目標に向かって全力で臨み、学級が一丸となって取り組む姿が見られ、充実した1日となりました。一部、十分な確認ができず、体育祭当日に発表した順位と実際の順位が変わってしまいましたことをお詫び申し上げます。次年度はこのようなことがないようにしっかり検証し、改善して参りますので何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



さて、先日、2年生が札幌コンサートを聴きに行ってきました。オーケストラの生演奏を聴くのは初めてという生徒もいたと思いますが、本物にふれて、そのよさや美しさを感じ取ることのできる貴重な機会になったと思います。

オーケストラは、チームワークがとても大切です。そして一人一人が自分の役割を理解して演奏することが必要とされます。

楽譜に書いてある通りに表現するだけでなく、全体のバランスを考え、それぞれの楽器のもつ役割に応じて、他の楽器より大きめの音で演奏したり、逆に控えめにしたりしなければなりません。そして100人位いるメンバーが呼吸を合わせ、音の出だしや終わりをぴたりとそろえることでひとつの音楽をつくりあげていきます。

また、アクシデントがあった場合、演奏が途切れないようにするために決められていることがあります。たとえばバイオリンの誰かの弦が切れてしまったら、バケツリレーのようにそのバイオリンを後ろの人にどんどん渡していき、一番後ろの人がステージを離れ弦を張り替えに行きます。一人のアクシデントを全体でカバーする体制ができています。

このように、いろいろな個性をもった楽器がその力を発揮してひとつのまとまった楽曲をつくりあげるのは、スポーツのチームプレーにも共通していると思います。

明日から中連体育大会です。チームでの競技に出場する選手の皆さんは、それぞれの力を十分に活かし、チームとしての底力を発揮してほしいと思います。

また、個人戦の競技に出場する選手は、自分がこれまで練習してきたことを信じて、戦ってほしいと思います。特に3年生にとってはこれまでがんばってきたことの集大成となる大会です。最後まであきらめることなく、全力でがんばってくれることを期待しています。

また、当日出場する選手以外の部員や全校応援の生徒の皆さんも、声援が選手の力となるよう応援してほしいと思います。

選手の皆さんの健闘を祈ります！頑張れ、東陽中！

